

講 義 要 項

授業科目		小児看護学概論		担当者	和田 三枝子		
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後		
	1 単位	15 時間	講 義		1 年次・前期・後期		
授 業 目標	1. 小児の健康な発達を支える社会、環境、保健、医療、福祉制度の仕組みを理解する。						
授業計画	1. 小児看護の特徴と理念（1章） <ul style="list-style-type: none"> 1) 小児看護の学び 子どもの特徴 小児看護の目標と役割 2) 小児看護における倫理 子供の権利とは 2. 小児看護の歴史と変遷（1章） <ul style="list-style-type: none"> 1) 小児看護の課題 2) 小児に関する統計（国民衛生の動向） 3. 家族の特徴とアセスメント（6章） <ul style="list-style-type: none"> 1) 家族の形態と機能 システム 2) 家族アセスメント 3) さまざまな家族 4. 小児看護学の理論 <ul style="list-style-type: none"> 5. 子どもと家族を取り巻く社会（7章）（資料） <ul style="list-style-type: none"> 1) 児童福祉 2) 虐待防止対策 3) 母子保健法 6. 医療支援について <ul style="list-style-type: none"> 1) 予防接種 2) 学校保健法 3) 小児の事故 7. 健康増進に向けた政策 <ul style="list-style-type: none"> 1) 子どものヘルスプロモーション 2) 食育 小児肥満 3) 特別支援教育 4) 臓器移植 8. 単位修得試験 						
参考文献等	教科書 <ul style="list-style-type: none"> 1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学（1），小児看護学概論・小児看護学概論臨床看護総論，医学書院。 2. 国民衛生の動向，厚生労働統計協会. 参考文献 <ul style="list-style-type: none"> ・小児看護学概論 南江堂 小児看護学概論 メジカルフレンド社 						
評価	1. 課題レポート提出 <ul style="list-style-type: none"> 2. 単位修得試験 3. 出席状況 						
備考	実務経験：助産師として、豊富な知識・経験をもとに授業を行う。						

講 義 要 項

授業科目		小児看護学概論		担当者	松原 美幸		
区分	単位数	時間数	授業形態		履修年次・前/後		
	1 単位	30 時間	講義・演習・DVD・その他		1 年次・後期		
授業目標	1. ライフサイクルからみた小児科各期の特徴を理解し、成長・発達について機能的側面、精神的側面、心理社会的側面から学ぶ。						
授業計画	1. 小児の成長と発達 2. 新生児、乳児期の子どもの成長・発達と看護 1) 形態的特徴 2) 身体的生理の特徴 3) 各機能の発達 4) 新生児の養育および看護 5) 乳児の養育および看護 3. 幼児期、学童期の子どもの成長・発達と看護 1) 形態的特徴 2) 身体的生理の特徴 3) 感覚機能 4) 運動機能 5) 知的機能 6) コミュニケーション機能、遊び 7) 情緒、社会的機能 8) 日常生活(基本的生活習慣の獲得) 4. 思春期の人々の成長・発達と看護 1) 形態的特徴 2) 生理的特徴 3) 知的・情緒(心理)・社会的機能 4) 生活の特徴 5) 心の問題 6) 飲酒・喫煙 7) 性に関する健康問題 8) 反社会的・逸脱行動 9) 事故・外傷 10) 思春期の看護 5. 健康障害や入院に伴うストレス 1) 経過によるストレス 2) 健康障害に伴うストレス 3) 子どものストレスへの反応や対処行動 4) 家族ストレス 5) ストレス対処に対する援助 6. これから的小児看護 1) 専門看護師 2) 小児看護と研究 3) 小児医療、小児看護の今後の課題						

参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学（1），小児看護学概論・小児看護学概論臨床看護総論，医学書院。 2. 国民衛生の動向，厚生労働統計協会.
評価	1. 単位修得試験
備考	実務経験：助産師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。